

平成27年度 新農薬実用化試験(効果試験)成績

試験実施機関:(公社)福島県植物防疫協会

試験年度	項目	対象作物(品種)	試験薬剤(使用濃度)	対象病害虫名	発生状況	効果判定(薬害)	結果及び考察
27	病害防除	リンゴ(陽光)	NNF-1520F(×2,000)	炭疽病	少(接種)	B(一)	2,000倍は収穫後、室内保存6日後の発病果調査において対照薬剤のオキシラン水和剤、500倍と同等の防除効果であった。無散布区と比較すると防除効果は認められた。実用性はあるものと判断された。葉および果実に対する薬害は認められなかった。
		リンゴ(陽光)	S-2367 40SC(×3,000)	炭疽病	少(接種)	B(一)	3,000倍収穫後、室内保存6日後の発病果調査において対照薬剤のオキシラン水和剤、500倍と同等の防除効果であった。無散布区と比較すると防除効果は認められた。実用性はあるものと判断された。葉および果実に対する薬害は認められなかった。
		リンゴ(陽光)	S-2367 40SC(×4,000)	炭疽病	少(接種)	B(一)	4,000倍収穫後、室内保存6日後の発病果調査において対照薬剤のオキシラン水和剤、500倍と同等～やや劣る防除効果であった。無散布区と比較すると防除効果は認められた。実用性はあるものと判断された。葉および果実に対する薬害は認められなかった。
		モモ(あかつき)	ケンジャF(×2,000)	灰星病	中	B(一)	2,000倍は収穫後、室内保存7日後までの累積発病果調査において、対照薬剤のダコレート水和剤1,000倍に比較し同等の防除効果であった。なお、無散布区と比較して防除効果は高かった。実用性はあると判断された。葉および果実に対する薬害は認められなかった。
		モモ(あかつき)	NNF-1520F(×2,000)	灰星病	中	A(一)	2,000倍は収穫後、室内保存7日後までの累積発病果調査において、対照薬剤のダコレート水和剤1,000倍に比較し優る防除効果であった。なお、無散布区と比較して防除効果は高かった。実用性は高いと判断された。葉および果実に対する薬害は認められなかった。
		モモ(あかつき)	NNF-1530F(×2,000)	灰星病	中	A(一)	2,000倍は収穫後、室内保存7日後までの累積発病果調査において、対照薬剤のダコレート水和剤1,000倍に比較し優る防除効果であった。なお、無散布区と比較して防除効果は高かった。実用性は高いと判断された。葉および果実に対する薬害は認められなかった。
		モモ(あかつき)	ケンジャF(×2,000)	ホモブシス腐敗病	中	C(一)	2,000倍は収穫後、室内保存7日後までの累積発病果調査において、対照薬剤のダコレート水和剤1,000倍に比較し優る防除効果であった。なお、無散布区と比較して防除効果は認められた。実用性はあるものと考えられた。葉および果実に対する薬害は認められなかった。
		モモ(あかつき)	アミスター10F(×3,000)	炭疽病	甚(接種)	A(一)	1,000倍は収穫後、室内保存7日後までの累積発病果調査において、対照薬剤のフリントフロアブル25 2,000倍に比較し同等の防除効果であった。なお、無散布区と比較して防除効果は高かった。実用性はあると判断された。葉および果実に対する薬害は認められなかった。
	虫害防除	ナシ(豊水)	AKD-1193SC(×5,000)	ハマキムシ類(リンゴカクモンハマキ)	多(放虫)	A(一)	本剤の5,000倍液の散布は、対照薬剤のダーズパンDF3,000倍液の散布より効果が優り、無処理に比べて高い効果が認められ、実用性は高いと考えられる。葉への薬害は認められなかった。
		ナシ(豊水)	IKI-3326L(×4,000)	ハマキムシ類(リンゴカクモンハマキ)	多(放虫)	A(一)	本剤の2,000倍液の散布は、対照薬剤のダーズパンDF3,000倍液の散布より優り、無処理に比べて高い効果が認められ、実用性は高いと考えられる。葉への薬害は認められなかった。
		ナシ(豊水)	AKD-1193SC(×5,000)	シンケイムシ類(ナシヒメシンケイ)	多(接種)	A(一)	本剤の5,000倍液の散布は、対照薬剤のスミチオン水和剤1,000倍液の散布と較べ、食害防止効果及び食入防止効果とも優っており、実用性は高いと考えられる。薬害は認められなかった。
		ナシ(豊水)	IKI-3326L(×2,000)	シンケイムシ類(ナシヒメシンケイ)	多(接種)	A(一)	本剤の2,000倍液の散布は、対照薬剤のスミチオン水和剤1,000倍液の散布と較べ、食害防止効果及び食入防止効果ともほぼ同等で、実用性は高いと考えられる。薬害は認められなかった。
		モモ(あかつき)	クミアイタックオイル(×30)	カイガラムシ類(クワシロカイガラムシ)	中	C(一)	本剤30倍液の散布は、対照薬剤の機械油乳剤95 24倍液の散布と較べ、同等の防除効果が認められ、無処理に較べると低いながら一定の効果があり、実用性はあると考えられる。薬害は認められなかった。
		モモ(あかつき)	クミアイタックオイル(×50)	カイガラムシ類(クワシロカイガラムシ)	中	D(一)	本剤50倍液の散布は、対照薬剤の機械油乳剤95 24倍液の散布と較べ防除効果はやや劣り、無処理に較べると多少の効果は認められるものの、その程度は低く、実用性はないと考えられる。薬害は認められなかった。
		モモ(川中島白桃)	ロムダンフロアブル(×3,000)	ケムシ類(アメリカシロヒトリ)	少(接種)	A(一)	本剤の3,000倍液の散布は、対照薬剤のフェニックスフロアブル4,000倍液の散布と較べ、同等の高い防除効果が認められ、実用性は高いと考えられる。薬害は認められなかった。
		モモ(まどか)	GL-34スプレー(原液)	カメムシ類(チャバナオカメムシ)	多(放虫)	B(一)	本剤の原液散布は、対照薬剤のアルバリン顆粒水溶剤2,000倍液の散布と較べると、殺虫効果の持続性や吸汁阻害効果がやや劣ったが、無処理に較べると一定の防除効果が認められたことから実用性はあると考えられる。薬害は認められなかった。
		スモモ(ソルダム)	全農スプラサイドWP(×1,500)	シンケイムシ類(ナシヒメシンケイ)	多(接種)	C(一)	本剤の1,500倍液の散布は、対照薬剤のダーズパンDF3,000倍液の散布と較べ、食害防止効果及び食入防止効果はやや優ったが、残効性は認められなかった。無処理に較べるとその効果は限定的であるが、実用性はあると考えられる。薬害は認められなかった。
		スモモ(ソルダム)	ロディーWP(×1,000)	シンケイムシ類(ナシヒメシンケイ)	多(接種)	B(一)	本剤の1,000倍液の散布は、対照薬剤のダーズパンDF3,000倍液の散布と較べ、食害防止効果及び食入防止効果は優り、実用性はあると考えられる。薬害は認められなかった。
		モモ(あかつき)	クミアイタックオイル(×50)	カイガラムシ類(クワシロカイガラムシ)	中	D(一)	本剤50倍液の散布は、対照薬剤の機械油乳剤95 24倍液の散布と較べ防除効果はやや劣り、無処理に較べると多少の効果は認められるものの、その程度は低く、実用性はないと考えられる。薬害は認められなかった。
		モモ(あかつき)	COGIANT(こじゃんと)66加用ダーズパンdf(×1,000、×3,000)	ハマキムシ類(リンゴカクモンハマキ)	多(放虫)	B(一)	本剤1,000倍液を加農したダーズパンDF 3,000倍の散布は、展着剤を加用しないダーズパンDF 3,000倍液の散布とほぼ同等の防除効果があり、無処理区に較べて一定の効果が認められた。薬害も観察されず、本剤加用による悪影響は認められなかった。
		オウトウ(紅さやか)	AKD-1193SC(×5,000)	ハマキムシ類(リンゴカクモンハマキ)	多(放虫)	A(一)	本剤の5,000倍液の散布は、対照薬剤のフェニックスフロアブル4,000倍液の散布と同等の効果があり、無処理に較べて高い効果が認められ、実用性は高いと考えられる。葉への薬害は認められなかった。